

令和4年度
第2回 鶴見区民アンケート
報告書

大阪市鶴見区役所

目次

アンケート概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
1. 情報の入手について	5
問1 区広報紙「広報つるみ」は、毎月1～5日の間で、年12回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。「広報つるみ」を読んでいますか。	5
問2 鶴見区が実施している広報（「広報つるみ」、区ホームページ、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。	6
問3 鶴見区では、「広報つるみ」や区ホームページ、区広報板などで、イベント情報や子育て情報など区役所からのお知らせを発信しています。あなたは、これらを通して区政（イベントやお知らせ、事業等の内容）について関心が高まりましたか。	8
問4 あなたは、情報入手する手段として、どのような媒体（新聞、インターネットサイト、SNS等）をよく利用されますか。	9
2. 健康管理について	11
問5 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取り組みをしていますか。	11
問6 健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。	13
3. 在宅医療（※）や介護サービスについて	14
問7 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。	14
4. 「人生会議（※）」について	16
問8 あなたは、「人生会議」を知っていますか。	16
問9 あなたは、今後「人生会議」について、家族や友人、医療・介護従事者と話し合ってみたいですか？	17
問10 （問9で「2 話し合うつもりはない」「3 わからない」と回答された方へ	18
その理由は何ですか？（いくつでも選んでください）	18
5. 地震・風水害等の災害について	19
問11 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に、ご自分（家族）の災害時避難所（※）がどこにあるか知っていますか。	19
問12 コロナ禍では、安全が確保できる場合は在宅避難が推奨されることについて知っていますか。	
20	
問13 あなたは、いざという時に備えて、食料や飲み水の備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていますか。	21
問14 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。	23
問15 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。	

	知っている防災事業を選んでください。.....	24
問 16	鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。あなたは、「鶴見区防災計画」やその取り組みを知っていますか。.....	25
問 17	あなたは、鶴見区で実施している取り組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。.....	27
6.	安全で住みやすいまちづくりについて.....	28
問 18	鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。知っている防犯事業を選んでください。.....	28
問 19	（問 18 で 1 ～ 5 を選択された方へ） 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。.....	29
問 20	鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業（交通安全教室などの交通マナーを高める取り組み）を行っています。知っている交通安全対策事業を選んでください。.....	31
問 21	（問 20 で 1 ～ 2 を選択された方へ） あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。.....	32
問 22	あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。.....	33
7.	地域活動協議会（地活協）について.....	35
問 23	お住まいの地域には、地域におけるさまざまな課題を解決するため、「地域活動協議会（地活協）」が活動しています。あなたは、これまで地活協の行事（活動）※に参加したことがありますか。.....	35
問 24	（問 23 で「2 参加したことがない」と回答された方へ） その理由は何ですか？.....	36
8.	鶴見区全般について.....	37
問 25	今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。.....	37
	調査票.....	39

アンケート概要

(1) 第2回区民アンケートの目的

区民の皆さまの多様なニーズを把握するとともに、区の施策や事業など、今後の区政運営の参考資料として活用することを目的として実施しました。

(2) 区民アンケートの実施状況

実施期間：令和4年12月2日（金）～12月15日（木）

実施方法：調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回答又はインターネットによる回答により実施

対象者：無作為抽出した18歳以上の鶴見区民1,000名

回答者数：446名

宛先不明返戻分：5件

回答率：44.8%

(3) 報告書に関する留意点について

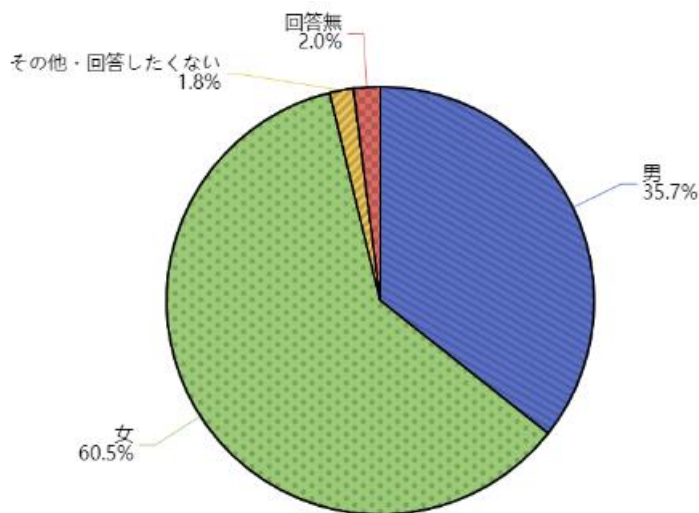
回答構成比（％）は、設問ごとの回答者数を100％として、各実数をもとに算出した数値の少数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100％と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

【性別】

男	159名	35.7%
女	270名	60.5%
その他・回答したくない	8名	1.8%

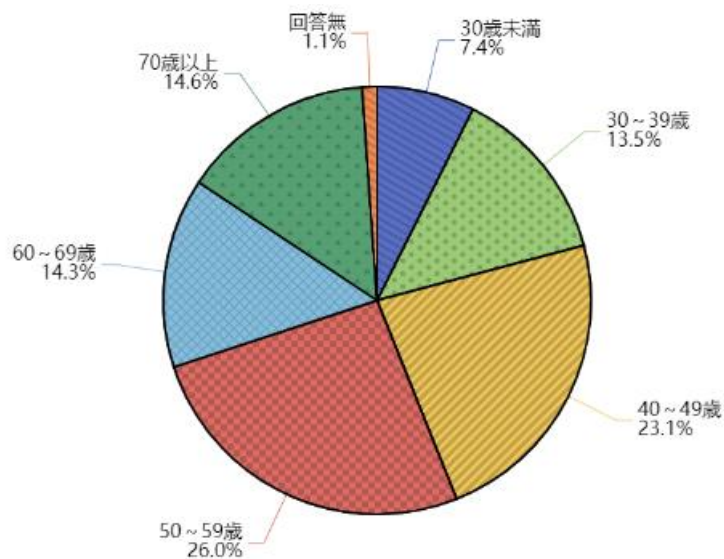
回答無	9名	2.0%
合計	446名	100%



【年齢】

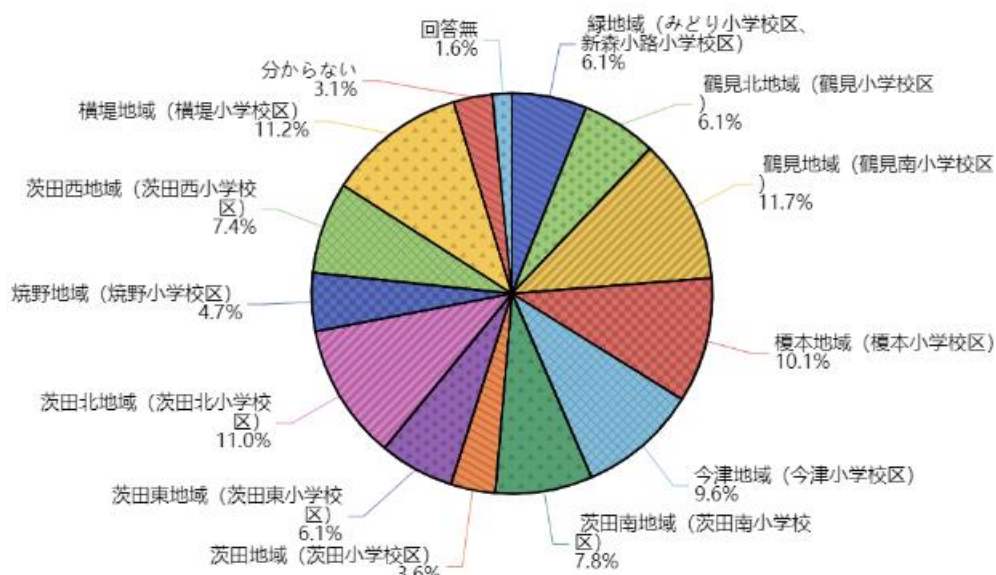
30歳未満	33名	7.4%
30～39歳	60名	13.5%
40～49歳	103名	23.1%
50～59歳	116名	26.0%

60～69歳	64名	14.3%
70歳以上	65名	14.6%
回答無	5名	1.1%
合計	446名	100%



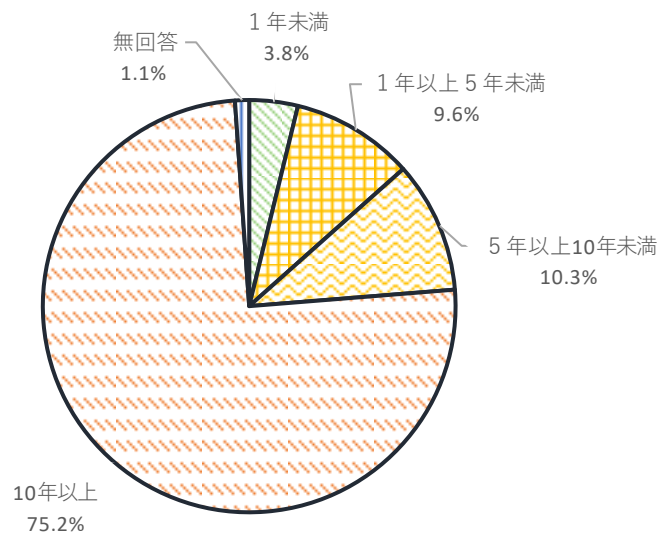
【地域】

緑地域（みどり小学校区、新森小路小学校区）	27名	6.1%
鶴見北地域（鶴見小学校区）	27名	6.1%
鶴見地域（鶴見南小学校区）	52名	11.7%
榎本地域（榎本小学校区）	45名	10.1%
今津地域（今津小学校区）	43名	9.6%
茨田南地域（茨田南小学校区）	35名	7.8%
茨田地域（茨田小学校区）	16名	3.6%
茨田東地域（茨田東小学校区）	27名	6.1%
茨田北地域（茨田北小学校区）	49名	11.0%
焼野地域（焼野小学校区）	21名	4.7%
茨田西地域（茨田西小学校区）	33名	7.4%
横堤地域（横堤小学校区）	50名	11.2%
分からない	14名	3.1%
回答無	7名	1.6%
合計	446名	100%



【居住年数】

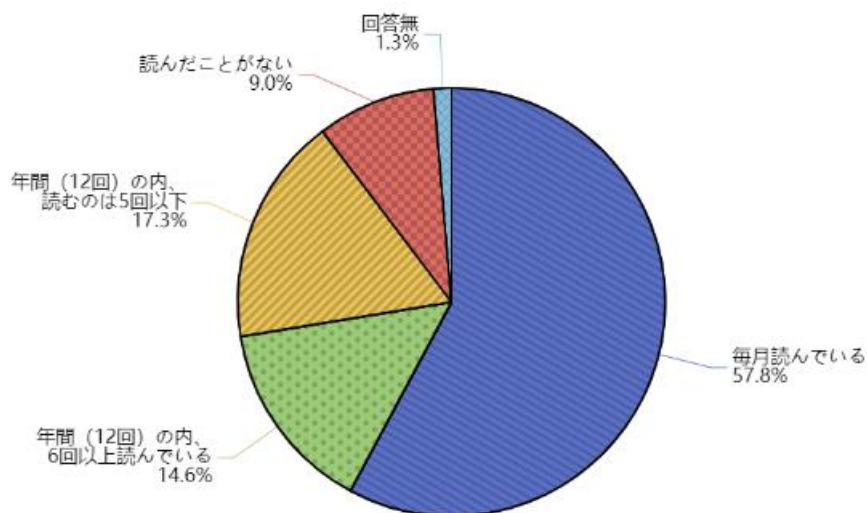
1年未満	17名	3.8%
1年以上5年未満	43名	9.6%
5年以上10年未満	46名	10.3%
10年以上	335名	75.1%
回答無	5名	1.1%
合計	446名	100%



1. 情報の入手について

問1 区広報紙「広報つるみ」は、毎月1～5日の間で、年12回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。
「広報つるみ」を読んでいただいていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 毎月読んでいる	258	57.8%
2 年間（12回）の内、6回以上読んでいる	65	14.6%
3 年間（12回）の内、読むのは5回以下	77	17.3%
4 読んだことがない	40	9.0%
回答無	6	1.3%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「毎月読んでいる」と回答した割合が最も多く、57.8%となっている。

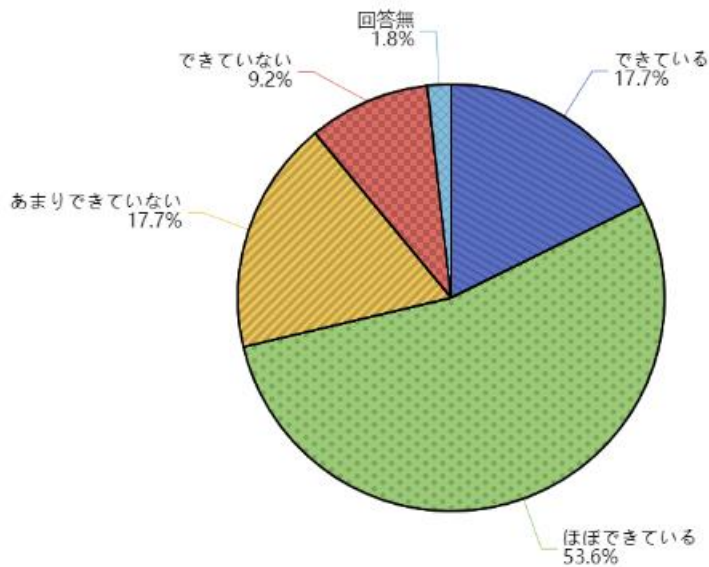
【年齢別傾向】 「30歳未満」では「年間（12回）の内、読むのは5回以下」と回答した割合が最も多く、36.4%となっており、その他の年代では「毎月読んでいる」が最も多い。

【居住年数別傾向】 「1年未満」では「年間（12回）の内、読むのは5回以下」と回答した割合が最も多く、29.4%となっており、その他の居住年数では「毎月読んでいる」が最も多い。

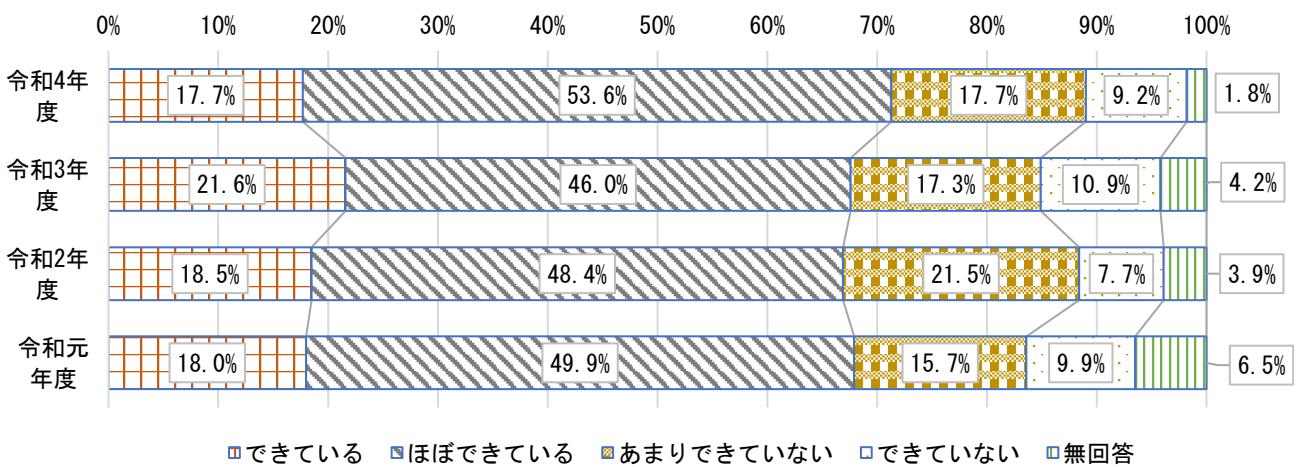
【地域別傾向】 すべての地域で「毎月読んでいる」と回答した割合が最も多く、なかでも「茨田東地域」は77.8%と最も多い。

問2 鶴見区が実施している広報（「広報つるみ」、区ホームページ、区広報板など）で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 できている	79	17.7%
2 ほぼできている	239	53.6%
3 あまりできていない	79	17.7%
4 できていない	41	9.2%
回答無	8	1.8%
合計	446	100%



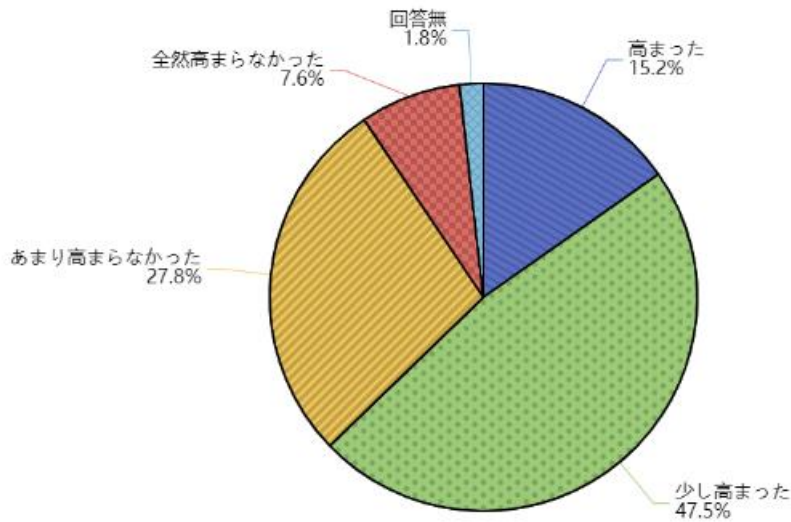
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「できている」(17.7%)、「ほぼできている」(53.6%)を合わせると71.3%の方が必要とする区政情報が必要なときに入手できていると肯定的に感じている。
- 【年齢別傾向】 「できている」又は「ほぼできている」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、79.3%となっている。最も少ないのは「30歳未満」で48.5%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「できている」又は「ほぼできている」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、73.4%となっている。最も少ないのは「1年未満」で47.0%となっている。
- 【地域別傾向】 「できている」又は「ほぼできている」と回答した割合を地域別にみると、「鶴見地域」が最も多く、82.7%となっている。

問3 鶴見区では、「広報つるみ」や区ホームページ、区広報板などで、イベント情報や子育て情報など区役所からのお知らせを発信しています。
 あなたは、これを通して区政（イベントやお知らせ、事業等の内容）について関心が高まりましたか。
 （1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 高まった	68	15.2%
2 少し高まった	212	47.5%
3 あまり高まらなかった	124	27.8%
4 全然高まらなかった	34	7.6%
回答無	8	1.8%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「高まった」（15.2%）、「少し高まった」（47.5%）を合わせると62.7%の方が区役所からの情報発信を通して区政について関心が高まったと回答している。

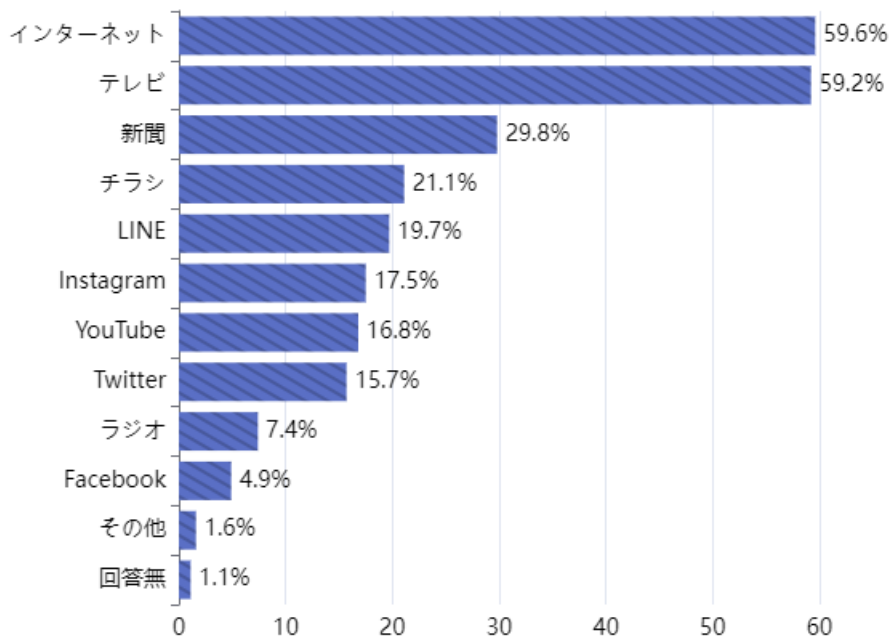
【年齢別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、66.3%となっている。最も少ないのは「70歳以上」で58.4%となっている。

【居住年数別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を居住年数別にみると、「5年以上10年未満」が最も多く、69.5%となっている。最も少ないのは「1年未満」で52.9%となっている。

【地域別傾向】 「高まった」又は「少し高まった」と回答した割合を地域別にみると、「今津地域」が最も多く、67.5%となっている。

問4 あなたは、情報入手する手段として、どのような媒体（新聞、インターネットサイト、SNS等）をよく利用されますか。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 新聞	133	29.8%
2 テレビ	264	59.2%
3 ラジオ	33	7.4%
4 チラシ	94	21.1%
5 インターネット	266	59.6%
6 Facebook	22	4.9%
7 Twitter	70	15.7%
8 Instagram	78	17.5%
9 LINE	88	19.7%
10 YouTube	75	16.8%
11 その他	7	1.6%
回答無	5	1.1%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「インターネット」と回答した割合が59.6%と最も多く、次いで「テレビ」が59.2%、「新聞」が29.8%などとなっている。

【年齢別傾向】 「60歳代未満」では「インターネット」と回答した割合が最も多く、「60歳代」及び「70歳以上」では「テレビ」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 「10年以上」では「テレビ」と回答した割合が最も多く（62.7%）、その他の居住年数では「インターネット」が最も多い。

【地域別傾向】 地域別にみると、「テレビ」と回答した割合が最も多い地域は5地域であり、「インターネット」と回答した割合が最も多い地域は6地域。「テレビ」「インターネット」が同率の地域が1地域。

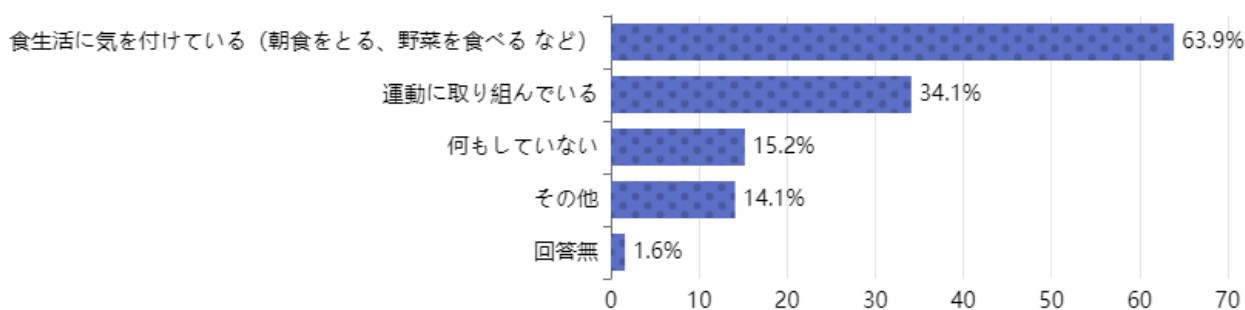
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・雑誌
- ・ニュースアプリ
- ・友人知人
- ・コンビニの店頭に貼ってある広告・電車内広告

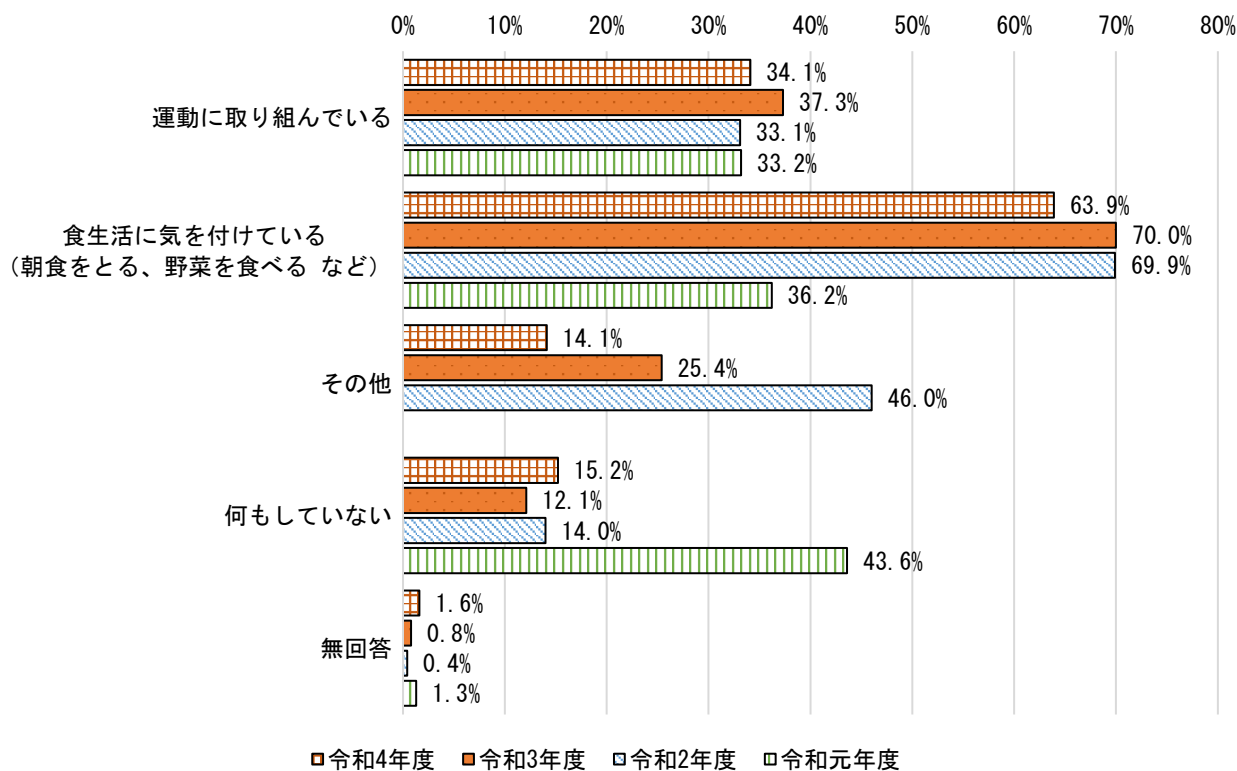
2. 健康管理について

問5 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取組みをしていますか。
(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 運動に取り組んでいる	152	34.1%
2 食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）	285	63.9%
3 その他	63	14.1%
4 何もしていない	68	15.2%
回答無	7	1.6%
合計	446	100%



【前回等調査との比較】



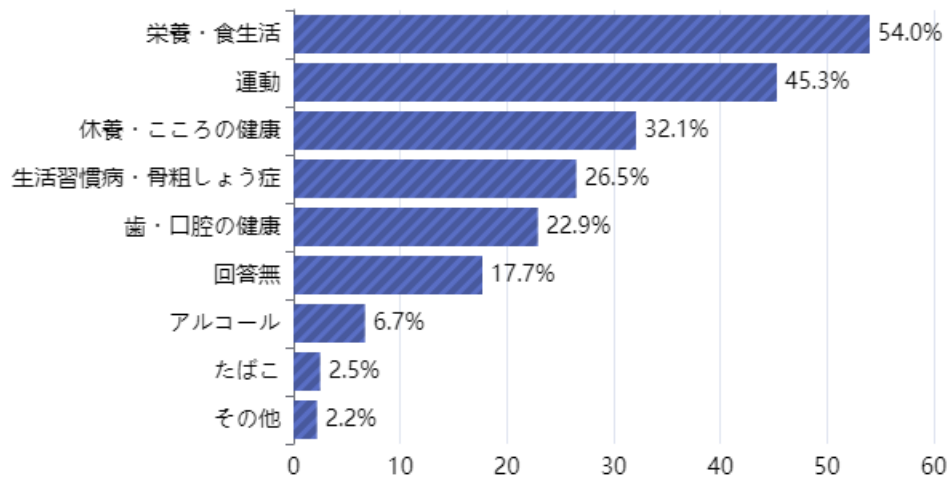
- 【全体的傾向】 「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」と回答した割合が最も多く、63.9%となっている。
- 【年齢別傾向】 すべての年代で「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」が最も多い。また「何もしていない」では「30歳未満」が24.2%となっており、他の年代よりも高い。
- 【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」が最も多い。
- 【地域別傾向】 すべての地域で「食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べるなど）」が最も多く、なかでも「茨田南地域」は71.4%と最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- | | | |
|------------|----------------------|------------------|
| ・血圧測定、体重測定 | ・手洗い | ・ラジオ体操、テレビ体操 |
| ・睡眠、休息をとる | ・休肝日をつくる | ・ストレスをためないようにする |
| ・禁煙 | ・湯船につかる | ・歯磨き、キシリトールガムを噛む |
| ・食べ過ぎない | ・健康診断、人間ドック、歯科検診を受ける | |

問6 健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。(3つまで選んでください)

選択肢	件数	割合
1 栄養・食生活	241	54.0%
2 運動	202	45.3%
3 休養・こころの健康	143	32.1%
4 アルコール	30	6.7%
5 たばこ	11	2.5%
6 歯・口腔の健康	102	22.9%
7 生活習慣病・骨粗しょう症	118	26.5%
8 その他	10	2.2%
回答無	79	17.7%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「栄養・食生活」が54.0%と最も多く、次いで「運動」が45.3%、「休養・こころの健康」が32.1%などとなっている。

【年齢別傾向】 「70歳以上」では「運動」が最も多く、55.4%となっており、その他の年代では「栄養・食生活」が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「栄養・食生活」が最も多い。

【地域別傾向】 「栄養・食生活」と回答した割合が最も多い地域は8地域であり、「運動」と回答した割合が最も多い地域は1地域。「栄養・食生活」「運動」が同率の地域が3地域。

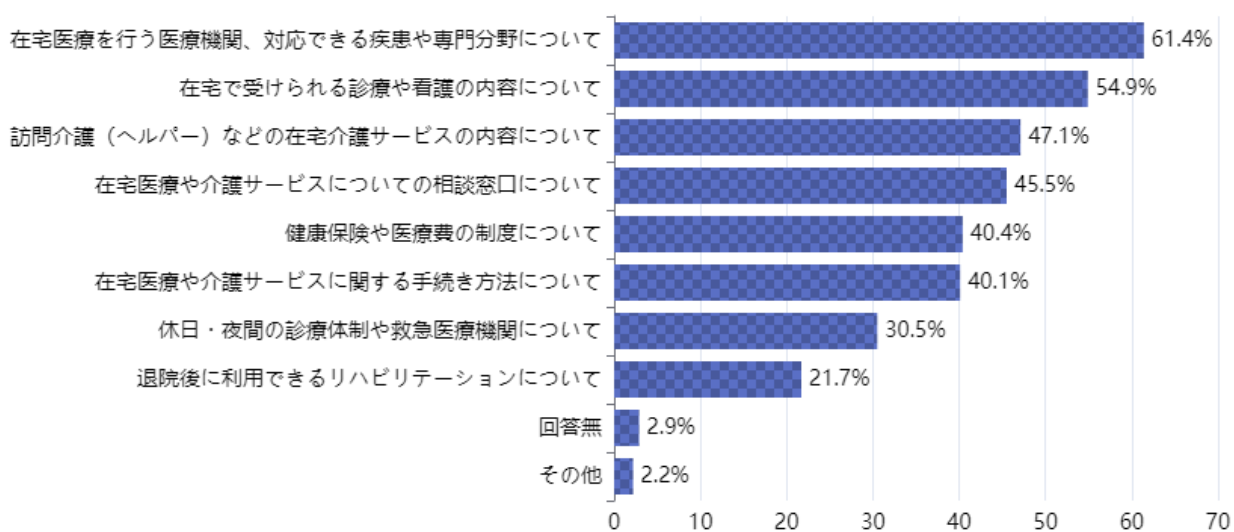
【その他】と回答された方のご意見（抜粋）

- ・更年期
- ・睡眠
- ・ストレス解消、発散法
- ・健康診断、病院
- ・アロマセラピー

3. 在宅医療（※）や介護サービスについて

問7 あなたは、医療と介護の両方を必要とする状態となった場合、住み慣れた地域で暮らすため、どのような情報が必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について	274	61.4%
2 在宅で受けられる診療や看護の内容について	245	54.9%
3 訪問介護（ヘルパー）などの在宅介護サービスの内容について	210	47.1%
4 在宅医療や介護サービスについての相談窓口について	203	45.5%
5 在宅医療や介護サービスに関する手続き方法について	179	40.1%
6 健康保険や医療費の制度について	180	40.4%
7 退院後に利用できるリハビリテーションについて	97	21.7%
8 休日・夜間の診療体制や救急医療機関について	136	30.5%
9 その他	10	2.2%
回答無	13	2.9%
合計	446	100%



- 【全体的傾向】 「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」が61.4%と最も多く、次いで「在宅で受けられる診療や看護の内容について」が54.9%などとなっている。
- 【年齢別傾向】 「70歳以上」では「訪問介護（ヘルパー）などの在宅介護サービスの内容について」が最も多く、58.5%となっており、その他の年代では「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」が最も多い。
- 【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」が最も多い。
- 【地域別傾向】 「在宅医療を行う医療機関、対応できる疾患や専門分野について」と回答した割合が最も多い地域は8地域であり、「在宅で受けられる診療や看護の内容について」と回答した割合が最も多い地域は4地域。

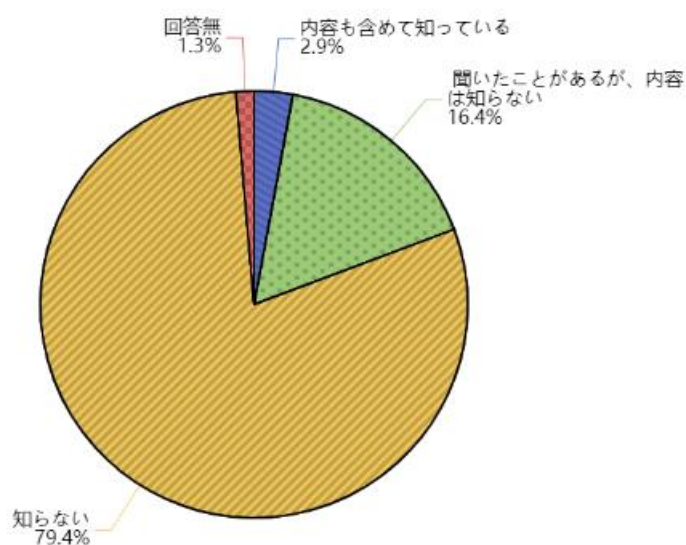
「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・ 個々のサービスを受けるにあたって一目でわかる料金表など、介護にかかるお金について
- ・ 緊急時、1人又は老老介護の場合、（災害時等）どう連絡してどの様に動くか？
- ・ 鶴見区だけではなく近隣の旭区・城東区・守口市との連携があればいいと思う。

4. 「人生会議（※）」について

問8 あなたは、「人生会議」を知っていますか。（1つを選んでください）

選択肢	件数	割合
1 内容も含めて知っている	13	2.9%
2 聞いたことがあるが、内容は知らない	73	16.4%
3 知らない	354	79.4%
回答無	6	1.3%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「知らない」と回答した割合が最も多く、79.4%となっている。

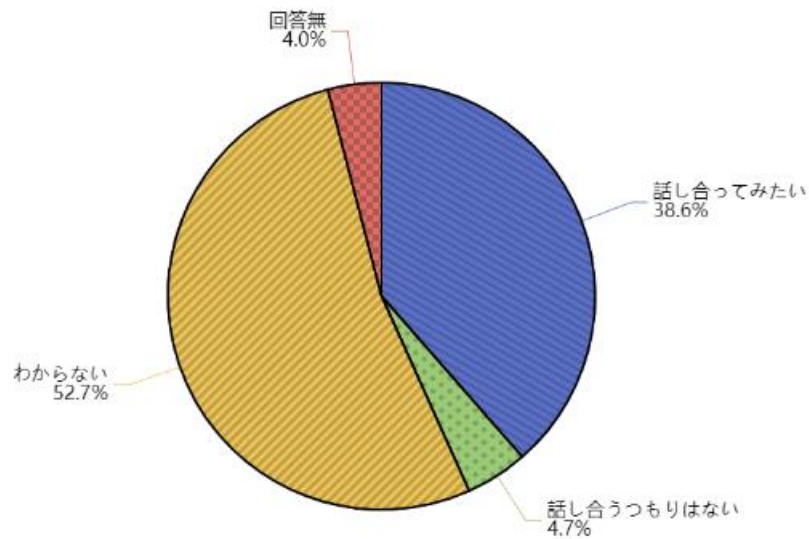
【年齢別傾向】 すべての年代で「知らない」が最も多い。また年齢層が高くなるほど、「聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答した割合は多くなっている。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「知らない」が最も多い。

【地域別傾向】 すべての地域で「知らない」が最も多く、なかでも「焼野地域」は90.5%と最も多い。

問9 あなたは、今後「人生会議」について、家族や友人、医療・介護従事者と話し合ってみたいですか？
（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 話し合ってみたい	172	38.6%
2 話し合うつもりはない	21	4.7%
3 わからない	235	52.7%
回答無	18	4.0%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「わからない」と回答した割合が最も多く、52.7%となっている。

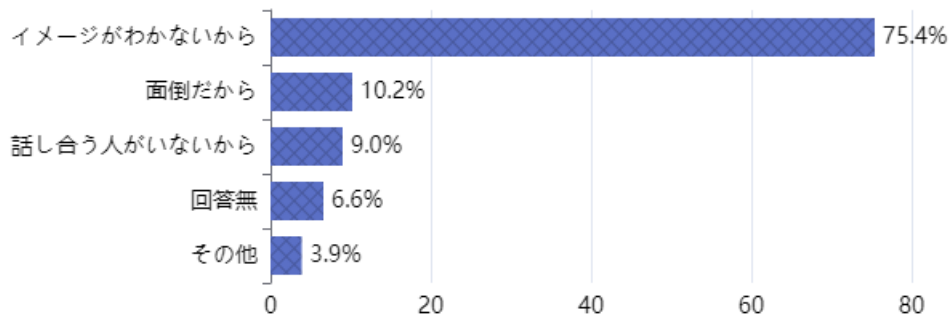
【年齢別傾向】 「30歳未満」では「話し合ってみたい」が最も多く、45.5%となっており、その他の年代では「わからない」が最も多い。

【居住年数別傾向】 「1年未満」及び「5年以上 10年未満」では「話し合ってみたい」が最も多く、それぞれ47.1%、50.0%となっており、その他の居住年数では「わからない」が最も多い。

【地域別傾向】 「わからない」と回答した割合が最も多い地域は8地域。
「話し合ってみたい」と回答した割合が最も多い地域は4地域であり、なかでも「焼野地域」は66.7%と最も多い。

問 10 (問 9 で「 2 話し合うつもりはない」「 3 わからない」と回答された方へ
その理由は何ですか？ (いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 イメージがわからないから	193	75.4%
2 面倒だから	26	10.2%
3 話し合う人がいないから	23	9.0%
4 その他	10	3.9%
回答無	17	6.6%
合計	256	100%



【全体的傾向】 「イメージがわからないから」が 75.4%と最も多く、次いで「面倒だから」が 10.2%などとなっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「イメージがわからないから」が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「イメージがわからないから」が最も多い。

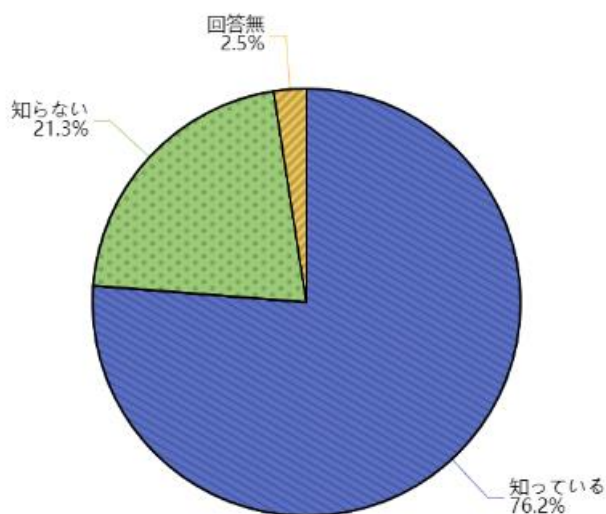
「その他」と回答された方のご意見 (抜粋)

- ・忙しい、時間がない
- ・人に関わりたくない、苦手
- ・必要がない
- ・かかりつけ医がない
- ・日本語がわからない

5. 地震・風水害等の災害について

問 11 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に、ご自分（家族）の災害時避難所（※）がどこにあるか知っていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 知っている	340	76.2%
2 知らない	95	21.3%
回答無	11	2.5%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「知っている」と回答した割合は、76.2%となっている。

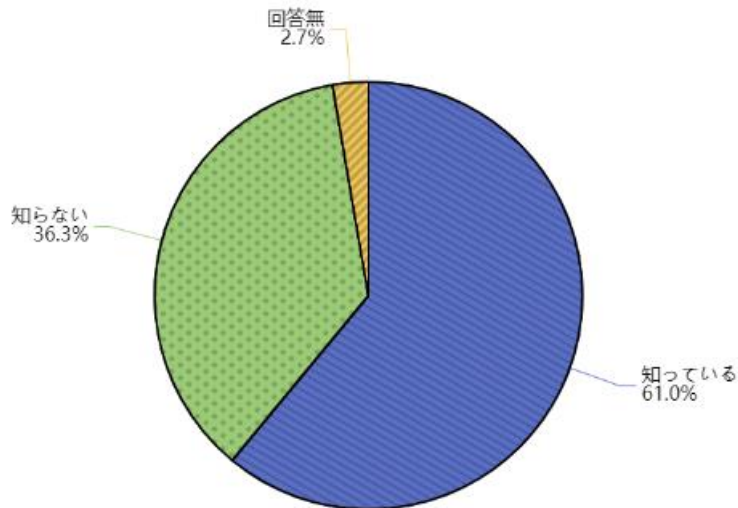
【年齢別傾向】 「知っている」と回答した割合を年齢別にみると、「50歳代」が最も多く、81.0%となっている。最も少ないのは「30歳代」で65.0%となっている。

【居住年数別傾向】 「知っている」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、80.0%となっている。最も少ないのは「1年未満」で41.2%となっている。

【地域別傾向】 「知っている」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、95.2%となっている。最も少ないのは「今津地域」で65.1%となっている。

問 12 コロナ禍では、安全が確保できる場合は在宅避難が推奨されることについて知っていますか。
(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 知っている	272	61.0%
2 知らない	162	36.3%
回答無	12	2.7%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「知っている」と回答した割合は、61.0%となっている。

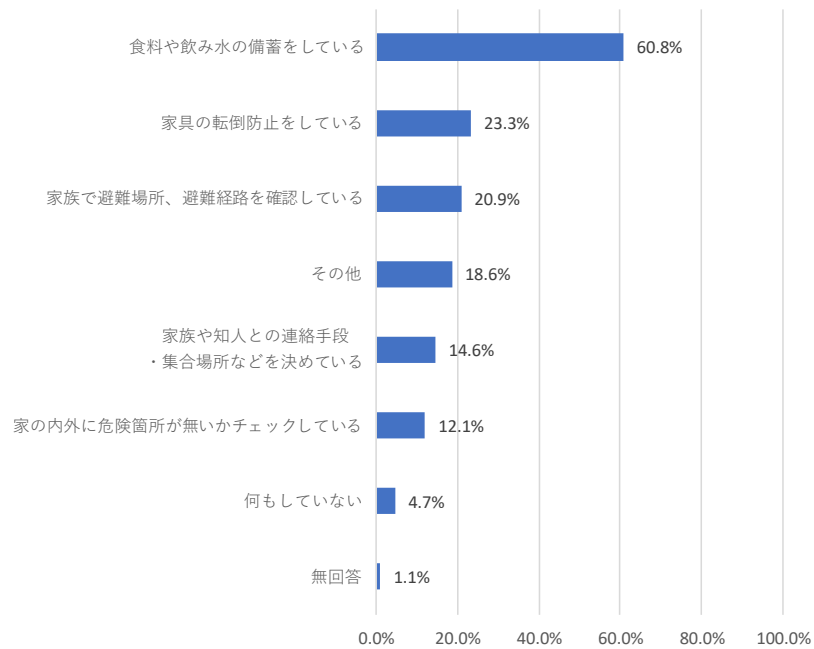
【年齢別傾向】 「知っている」と回答した割合を年齢別にみると、「60歳代」が最も多く、68.8%となっている。最も少ないのは「30歳未満」で54.5%となっている。

【居住年数別傾向】 「知っている」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年以上5年未満」が最も多く、72.1%となっている。最も少ないのは「5年以上10年未満」で50.0%となっている。

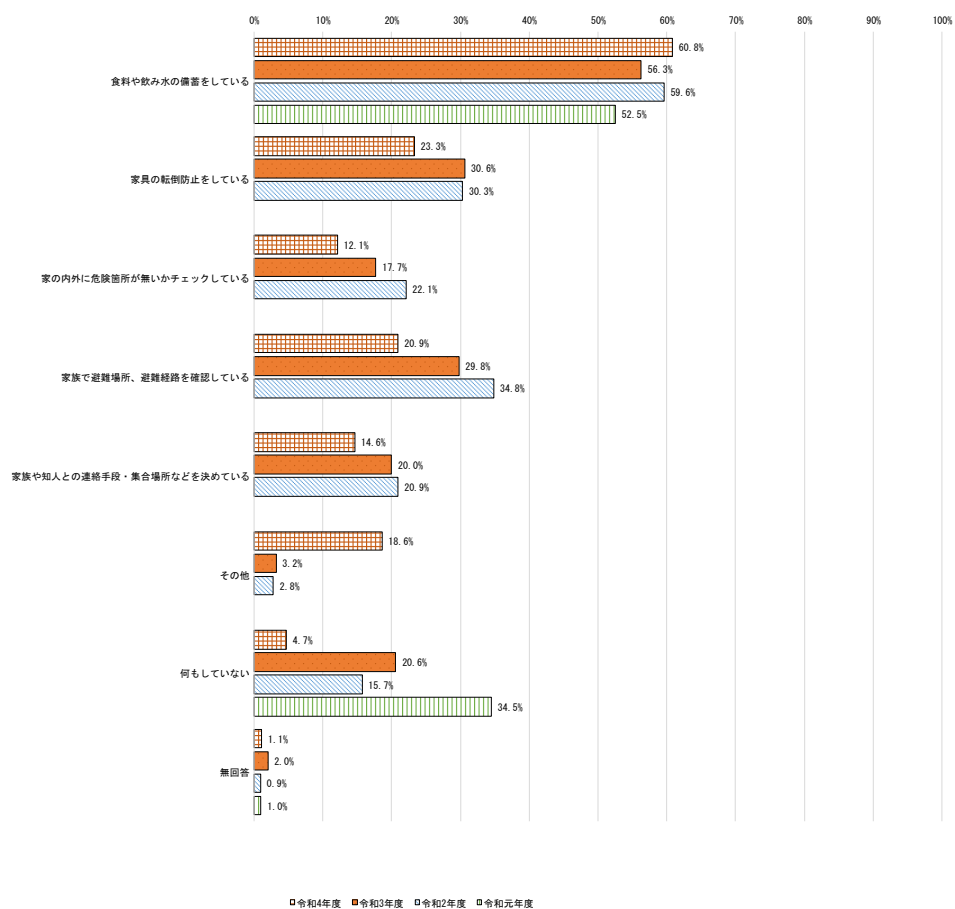
【地域別傾向】 「知っている」と回答した割合を地域別にみると、「茨田東地域」が最も多く、74.1%となっている。最も少ないのは「茨田地域」で43.8%となっている。

問 13 あなたは、いざという時に備えて、食料や飲み水の備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていますか。
(いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 食料や飲み水の備蓄をしている	271	60.8%
2 家具の転倒防止をしている	104	23.3%
3 家の内外に危険箇所が無いかチェックしている	54	12.1%
4 家族で避難場所、避難経路を確認している	93	20.9%
5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを決めている	65	14.6%
6 その他	83	18.6%
7 何もしていない	21	4.7%
回答無	5	1.1%
合計	446	100%



【前回等調査との比較】



【全体的傾向】

「食料や飲み水の備蓄をしている」が60.8%と最も多く、次いで「家具の転倒防止をしている」が23.3%、「家族で避難場所、避難経路を確認している」が20.9%などとなっている。

【年齢別傾向】

すべての年代で「食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】

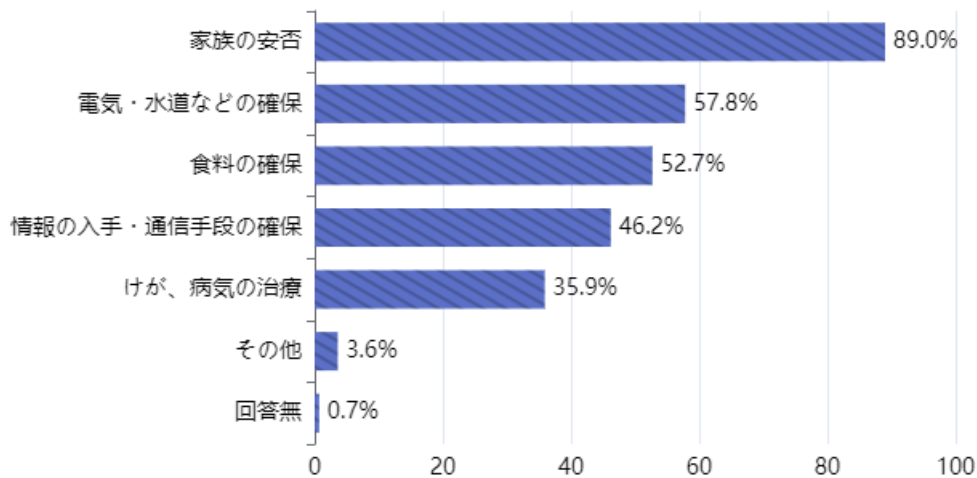
すべての居住年数で「食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合が最も多い。

【地域別傾向】

すべての地域で「食料や飲み水の備蓄をしている」と回答した割合が最も多い。

問 14 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 家族の安否	397	89.0%
2 電気・水道などの確保	258	57.8%
3 食料の確保	235	52.7%
4 情報の入手・通信手段の確保	206	46.2%
5 けが、病気の治療	160	35.9%
6 その他	16	3.6%
回答無	3	0.7%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「家族の安否」が 89.0%と最も多く、次いで「電気・水道などの確保」が 57.8%、「食料の確保」が 52.7%などとなっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「家族の安否」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「家族の安否」と回答した割合が最も多い。

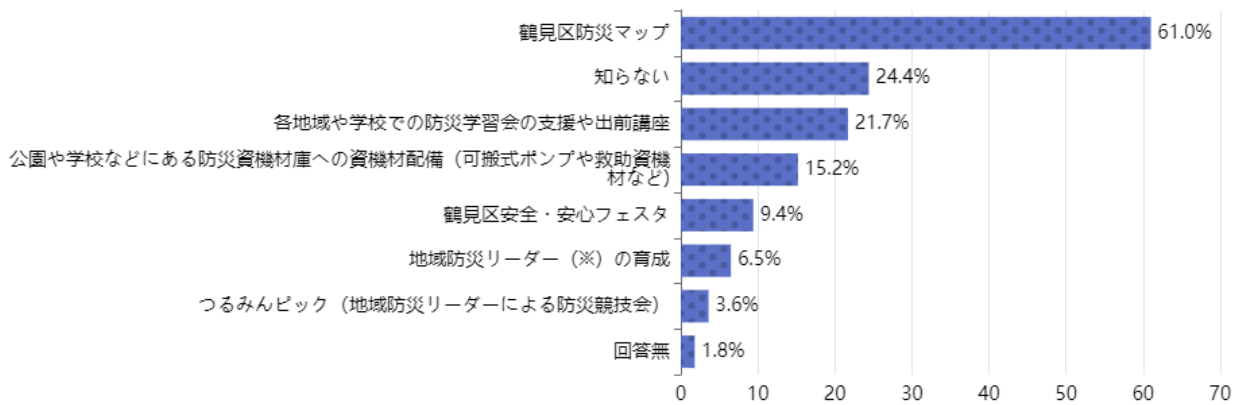
【地域別傾向】 すべての地域で「家族の安否」と回答した割合が最も多い。

その他

- ・トイレ、風呂などの衛生面
- ・薬の確保
- ・市営住宅など建物の倒壊
- ・デマ
- ・帰宅できるかどうか
- ・ペットとの避難
- ・障がいを抱えている方との避難

問 15 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。知っている防災事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備（可搬式ポンプや救助資機材など）	68	15.2%
2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座	97	21.7%
3 鶴見区防災マップ	272	61.0%
4 鶴見区安全・安心フェスタ	42	9.4%
5 地域防災リーダー（※）の育成	29	6.5%
6 つるみんピック（地域防災リーダーによる防災競技会）	16	3.6%
7 知らない	109	24.4%
回答無	8	1.8%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「鶴見区防災マップ」が 61.0%と最も多く、次いで「知らない」が 24.4%、「各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座」が 21.7%などとなっている。

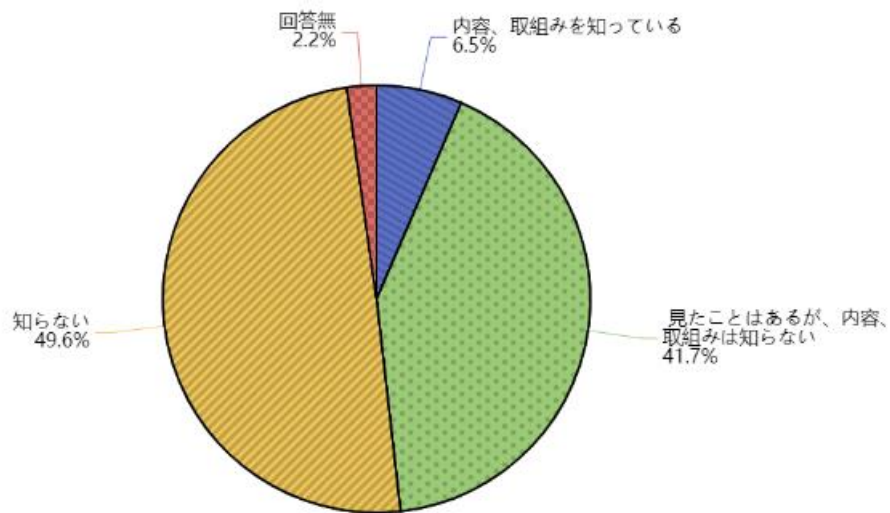
【年齢別傾向】 すべての年代で「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多い。「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「60歳代」が 32.8%と最も多く、「70歳以上」が 18.5%と最も少ない。

【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多い。

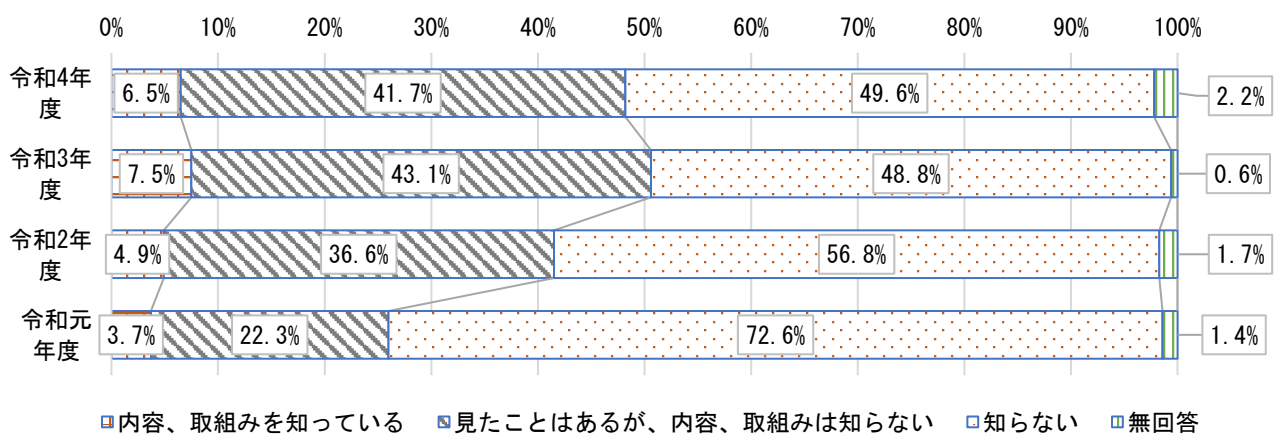
【地域別傾向】 すべての地域で「鶴見区防災マップ」と回答した割合が最も多い。「知らない」と回答した割合を地域別にみると、「緑地域」及び「鶴見北地域」が 33.3%と最も多く、「焼野地域」が 4.8%と最も少ない。

問 16 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）について作成しています。
あなたは、「鶴見区防災計画」やその取組みを知っていますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 内容、取組みを知っている	29	6.5%
2 見たことはあるが、内容、取組みは知らない	186	41.7%
3 知らない	221	49.6%
回答無	10	2.2%
合計	446	100%



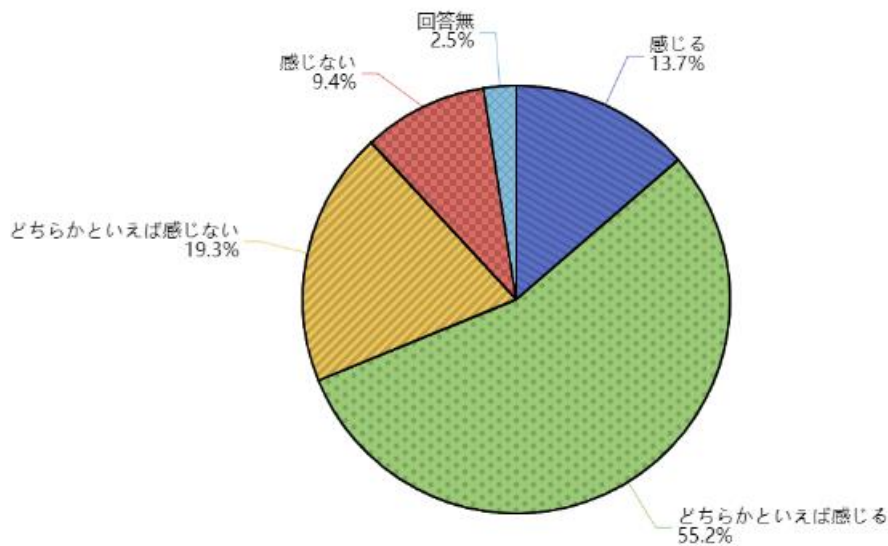
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 「見たことはあるが、内容、取組みは知らない」（41.7%）、「知らない」（49.6%）を合わせると91.3%の方が「鶴見区防災計画」の内容やその取組みを知らない。
- 【年齢別傾向】 「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、66.7%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「知らない」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、64.7%となっている。
- 【地域別傾向】 「知らない」と回答した割合を地域別にみると、「茨田東地域」が最も多く、63.0%となっている。

問 17 あなたは、鶴見区で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	61	13.7%
2 どちらかといえば感じる	246	55.2%
3 どちらかといえば感じない	86	19.3%
4 感じない	42	9.4%
回答無	11	2.5%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「感じる」（13.7%）、「どちらかといえば感じる」（55.2%）を合わせると68.9%の方が区役所で実施している取組みが、今後の災害に対する備えにつながっていると感じている。

【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「40歳代」が最も多く、72.8%となっている。最も少ないのは「60歳代」で59.4%となっている。

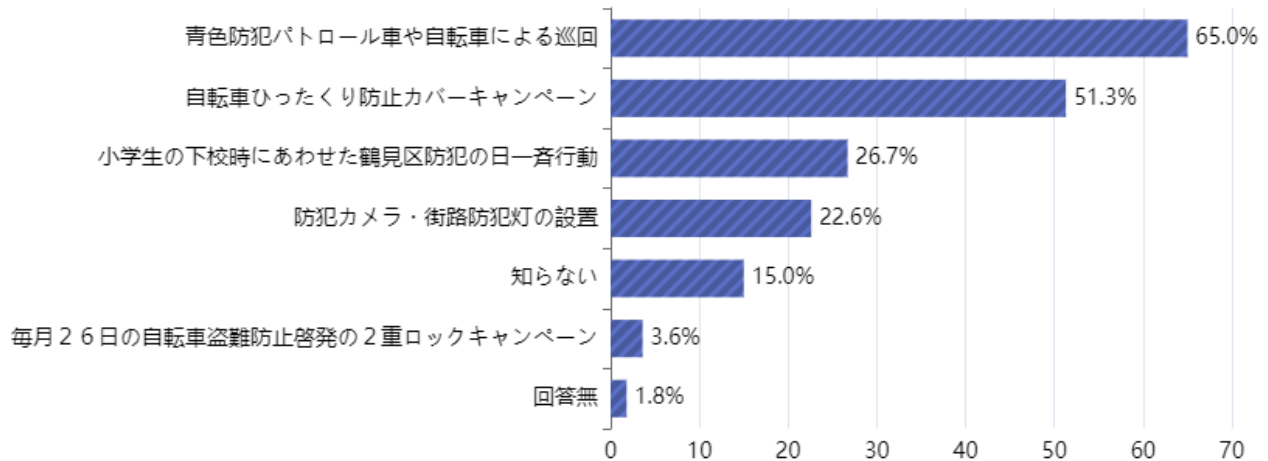
【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「5年以上10年未満」が最も多く、80.4%となっている。最も少ないのは「1年未満」で58.8%となっている。

【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「鶴見地域」が最も多く、78.8%となっている。

6. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 18 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。知っている防犯事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 青色防犯パトロール車や自転車による巡回	290	65.0%
2 小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動	119	26.7%
3 自転車ひたたくり防止カバーキャンペーン	229	51.3%
4 防犯カメラ・街路防犯灯の設置	101	22.6%
5 毎月26日の自転車盗難防止啓発の2重ロックキャンペーン	16	3.6%
6 知らない	67	15.0%
回答無	8	1.8%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が65.0%と最も多く、次いで「自転車ひたたくり防止カバーキャンペーン」が51.3%、「小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動」が26.7%などとなっている。

【年齢別傾向】 「60歳代」では「自転車ひたたくり防止カバーキャンペーン」と回答した割合が最も多く、51.6%となっている。その他の年代では、「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 「1年未満」及び「1年以上5年未満」では「知らない」と回答した割合が最も高く、それぞれ52.9%、39.5%となっている。その他の居住年数では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」と回答した割合が最も多い。

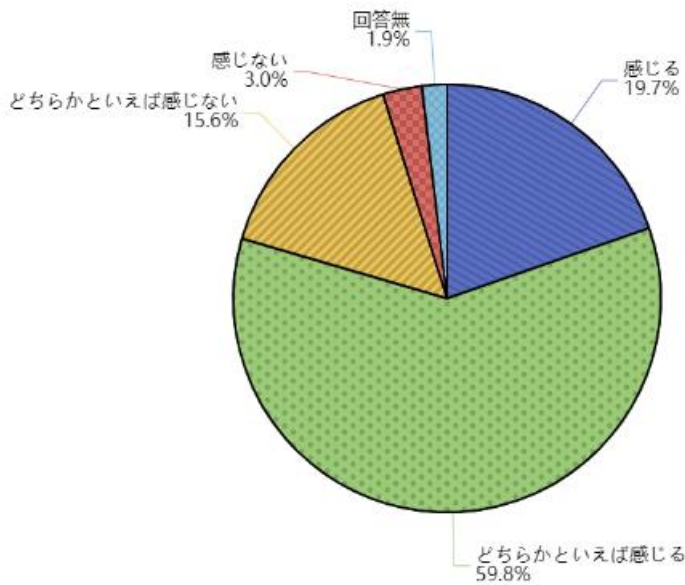
【地域別傾向】 11の地域で「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」と回答した割合が最も多い。

問 19 (問 18 で 1 ～ 5 を選択された方へ)

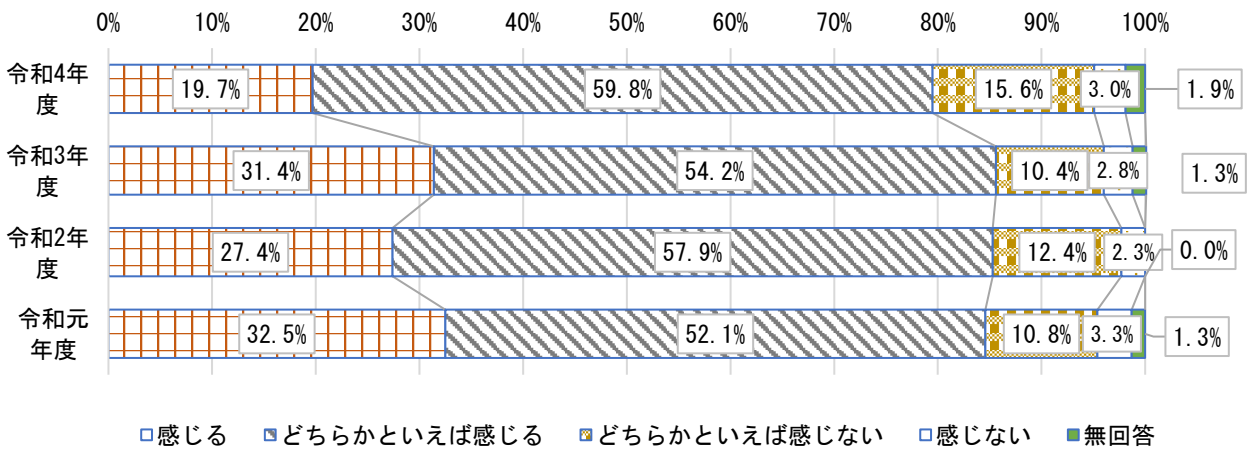
鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。

(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	73	19.7%
2 どちらかといえば感じる	222	59.8%
3 どちらかといえば感じない	58	15.6%
4 感じない	11	3.0%
回答無	7	1.9%
合計	371	100%



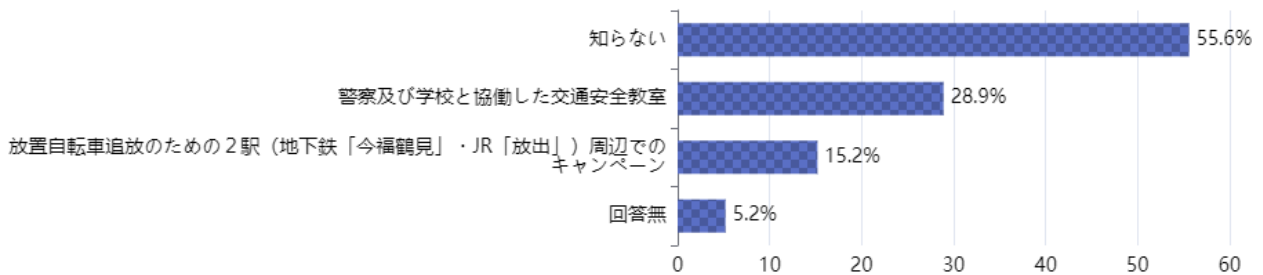
【前回等調査との比較】



- 【全体的傾向】 区役所が実施している防犯事業を知っている方のうち、「感じる」（19.7%）、「どちらかといえば感じる」（59.8%）を合わせると79.5%の方が鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、81.5%となっている。最も少ないのは「60歳代」で69.6%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」が最も多く、78.2%となっている。

問 20 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業（交通安全教室などの交通マナーを高める取組み）を行っています。
知っている交通安全対策事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

選択肢	件数	割合
1 警察及び学校と協働した交通安全教室	129	28.9%
2 放置自転車追放のための2駅（地下鉄「今福鶴見」・JR「放出」）周辺でのキャンペーン	68	15.2%
3 知らない	248	55.6%
回答無	23	5.2%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「知らない」と回答した割合が最も多く、55.6%となっている。

【年齢別傾向】 すべての年代で「知らない」と回答した割合が最も多い。「知らない」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳代」が最も多く、75.0%となっている。

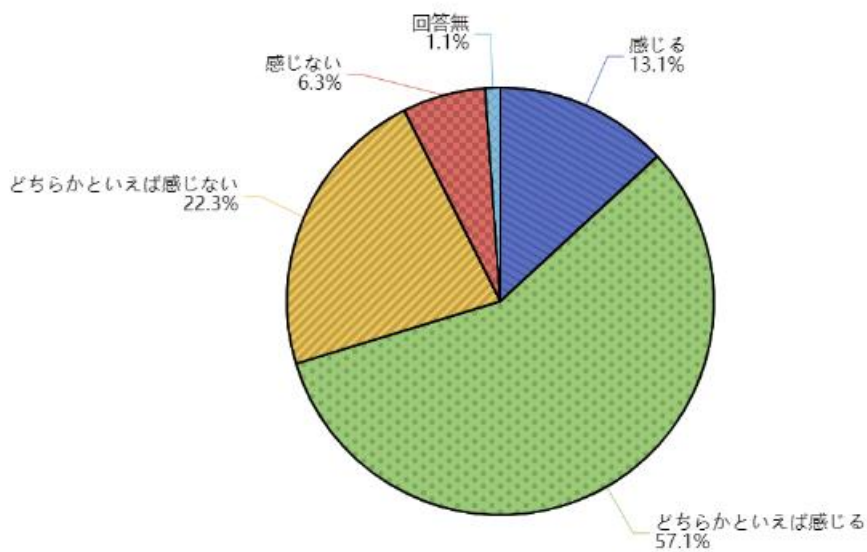
【居住年数別傾向】 すべての居住年数で「知らない」と回答した割合が最も多い。

【地域別傾向】 すべての地域で「知らない」と回答した割合が最も多い。「知らない」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、76.2%となっている。

問 21 (問 20 で 1～2 を選択された方へ)

あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

選択肢	件数	割合
1 感じる	23	13.1%
2 どちらかといえば感じる	100	57.1%
3 どちらかといえば感じない	39	22.3%
4 感じない	11	6.3%
回答無	2	1.1%
合計	175	100%



【全体的傾向】

区役所が実施している交通安全対策事業を知っている方のうち、「感じる」(13.1%)、「どちらかといえば感じる」(57.1%)を合わせると70.2%の方が交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じている。

【年齢別傾向】

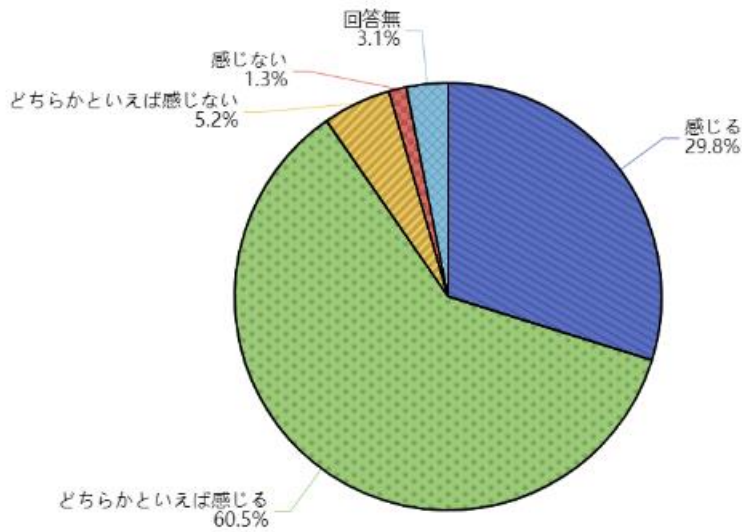
「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳代」が最も多く、92.3%となっている。

【居住年数別傾向】

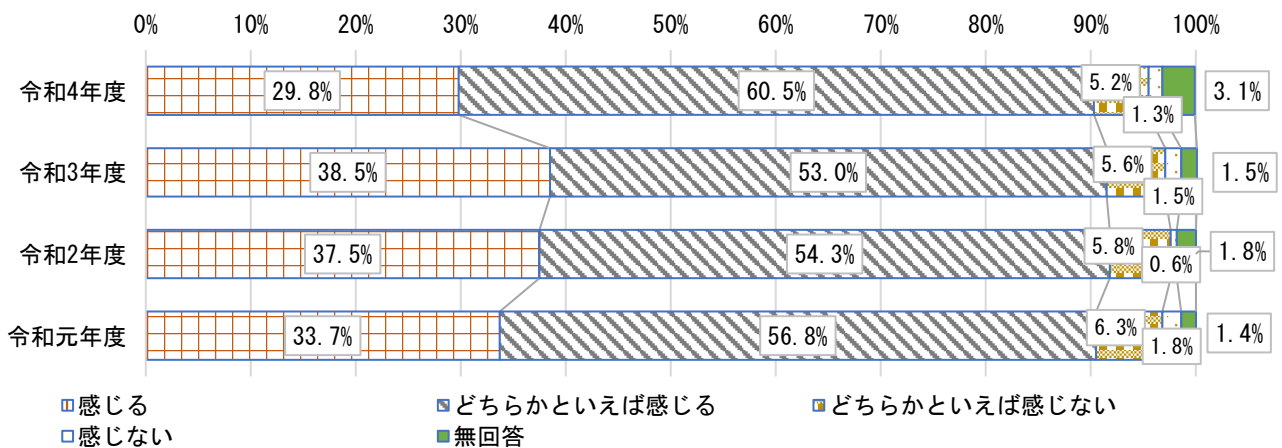
「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「10年以上」は最も小さく、65.7%となっている。

問 22 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。（1つ選んでください）

選択肢	件数	割合
1 感じる	133	29.8%
2 どちらかといえば感じる	270	60.5%
3 どちらかといえば感じない	23	5.2%
4 感じない	6	1.3%
回答無	14	3.1%
合計	446	100%



【前回等調査との比較】



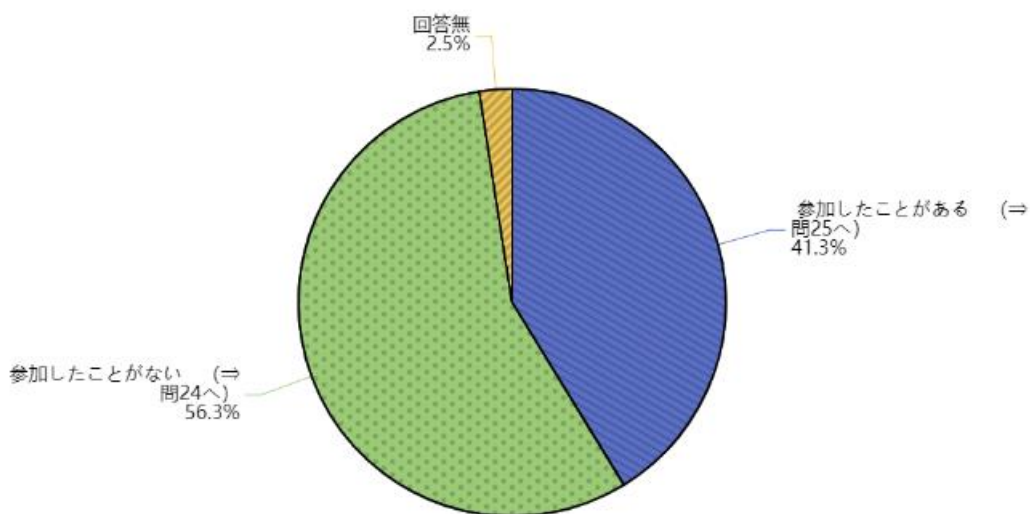
- 【全体的傾向】 「感じる」(29.8%)、「どちらかといえば感じる」(60.5%)を合わせると90.3%の方が鶴見区は安全で住みやすいまちと感じている。
- 【年齢別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を年齢別にみると、「30歳未満」が最も多く、96.9%となっている。最も少ないのは「60歳代」で87.5%となっている。
- 【居住年数別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を居住年数別にみると、「1年未満」が最も多く、94.1%となっている。最も少ないのは「1年以上5年未満」で88.4%となっている。
- 【地域別傾向】 「感じる」又は「どちらかといえば感じる」と回答した割合を地域別にみると、「茨田地域」が最も多く、100.0%となっている。

7. 地域活動協議会（地活協）について

問 23 お住まいの地域には、地域におけるさまざまな課題を解決するため、「地域活動協議会（地活協）」が活動しています。

あなたは、これまで地活協の行事（活動）※に参加したことがありますか。

選択肢	件数	割合
1 参加したことがある（⇒問 25 へ）	184	41.3%
2 参加したことがない（⇒問 24 へ）	251	56.3%
回答無	11	2.5%
合計	446	100%



【全体的傾向】 「参加したことがない」と回答した割合は 56.3%となっており、「参加したことがある」と回答した割合（41.3%）よりも多くなっている。

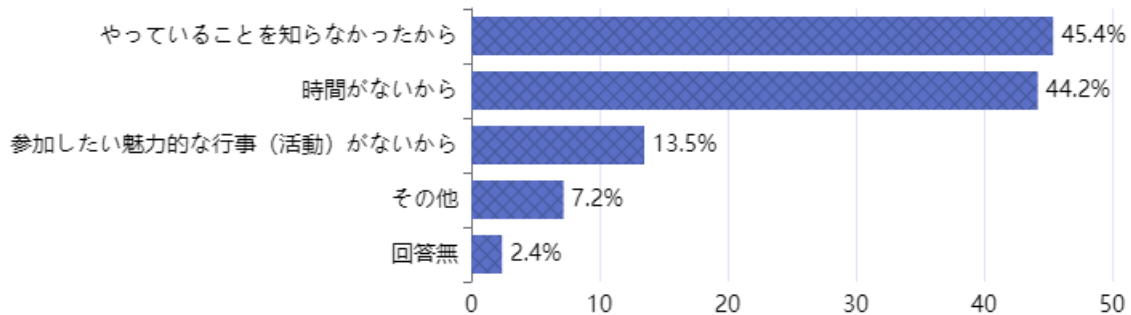
【年齢別傾向】 「70歳以上」では「参加したことがある」と「参加したことがない」は同率の 47.7%となっており、その他の年代では「参加したことがない」の方が多い。「参加したことがない」と回答した割合が最も多いのは「30歳未満」で 78.8%となっている。

【居住年数別傾向】 すべての年代で「参加したことがない」と回答した割合が多く、「10年以上」では 50.4%となっている。

【地域別傾向】 「参加したことがある」と回答した割合を地域別にみると、「焼野地域」が最も多く、71.4%となっている。

問 24 (問 23 で「2 参加したことがない」と回答された方へ)
その理由は何ですか？ (いくつでも選んでください)

選択肢	件数	割合
1 時間がないから	111	44.2%
2 参加したい魅力的な行事（活動）がないから	34	13.5%
3 やっていることを知らなかったから	114	45.4%
4 その他	18	7.2%
回答無	6	2.4%
合計	251	100%



【全体的傾向】 「やっていることを知らなかった」が 45.4%と最も多く、次いで「時間がないから」が 44.2%、「参加したい魅力的な行事（活動）がないから」が 13.5%などとなっている。

【年齢別傾向】 「40歳代」「50歳代」「60歳代」では「時間がないから」と回答した割合が最も多く、その他の年代では「やっていることを知らなかった」と回答した割合が最も多い。

【居住年数別傾向】 「10年以上」では「時間がないから」と回答した割合が最も多い。

「その他」と回答された方のご意見（抜粋）

- ・時間が合わない
- ・体調が悪い
- ・活動内容がよく分からない
- ・子供が小さい時は参加していたが、大きくなると関わる事がなくなった。
- ・子供や高齢者向けの行事が多く、大人二人で参加しやすいイベントがないため。
- ・きっかけがない、意欲がわからない
- ・最近住みはじめた為
- ・表向きだけだから
- ・出歩きのが苦手
- ・参加しにくいと感じる

8. 鶴見区全般について

問 25 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

【防災、防犯に関すること】

- 置き引きの取り締まり強化
- 防犯カメラの増設
- 夜間の定期的な見回り
- 災害時の模範行動冊子の配布
- 街灯の増設、
- 各町内の街灯の整備
- 路上喫煙の取り締まり
- 警察官の増員、交番の増設
- 防災マップの配布
- 位置情報サービスGPSの無料使用
- 地域単位での防犯、災害に関するセミナー
- 朝、昼、夜間わず、ランダムなパトロール
- 青色パトロールや自転車による巡回増加
- パトロールの強化
- 地震体感体験
- 地域の防犯活動

【高齢者に関すること】

- バリアフリー化を進める
- 高齢者が通院できない場合（筋力低下などで）介護保険を使わなくても受診ができる体制作り

【交通に関すること】

- 今津橋南側（南北線）の歩道整備
- 交通安全に関する取り組み
- 無電柱化による歩道の拡張
- 違法駐停車や夜間の暴走バイクの取り締まり
- 自転車の交通ルールの講習会開催
- 自転車の安全教室
- 土日の駅前の放置自転車の撤去
- 交通網の充実
- 放出駅周辺の放置自転車の撤去

【子供たちに関すること】

- 自転車のルール徹底
- 自転車練習場の設置
- 子供たちの帰宅を促すために、音楽を公園の防災行政無線で夕方放送する。
- 通学路の道の整備
- フリースクールの設置
- 保育料の値下げ
- 小学生の交通ルールの徹底
- 生活指導の強化
- 緑地公園のスケボーの排除

【鶴見地域に関すること】

- 広報つるみの内容充実
- 鶴見区アプリ
- 鶴見緑地での農地貸し出し
- 地域のイベントの復活
- 公園の整備、植木の手入れ
- ゴミ箱の設置
- 植え込みの3割をベンチとトイレに置き換える
- 地域のパトロール
- 町の放送スピーカーの性能強化
- 赤バスの復活
- 集会所の有効活用
- ボランティア活動者の募集
- 広報つるみの充実
- 緑地公園のトイレの清掃
- 鶴見区独自のプレミアム商品券
- 区役所立て替え

【その他】

- 民生委員の役割強化
- 産婦人科の増設
- ご近所同士の声の掛け合い
- みんなで家の周りを歩くポケモンゴーとコラボ
- 若者に給付金を送る。
- 野良猫、地域猫
- ポスト増設

第2回 鶴見区民アンケート

- 質問ごとに該当する答えを選んで、○印を付けてください。
 - 「その他」、() について、具体的な内容を記入してください。
- 貴重なお時間を頂戴することとなりますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 情報の入手について

問1 区広報紙「広報つるみ」は、毎月1～5日の間で、年12回各ご家庭・区内事業所に全戸配布しています。

「広報つるみ」を読んでいたっていますか。(1つ選んでください)

- 1 毎月読んでいる
- 2 年間(12回)の内、6回以上読んでいる
- 3 年間(12回)の内、読むのは5回以下
- 4 読んだことがない

問2 鶴見区が実施している広報(「広報つるみ」、区ホームページ、区広報板など)で、必要とする区政情報が必要なときに入手できていますか。(1つ選んでください)

- 1 できている
- 2 ほぼできている
- 3 あまりできていない
- 4 できていない

問3 鶴見区では、「広報つるみ」や区ホームページ、区広報板などで、イベント情報や子育て情報など区役所からのお知らせを発信しています。

あなたは、これを通して区政(イベントやお知らせ、事業等の内容)について関心が高まりましたか。(1つ選んでください)

- 1 高まった
- 2 少し高まった
- 3 あまり高まらなかった
- 4 全然高まらなかった

※「広報つるみ」が回っていない方は、区委託事業者
(合)FK 電話：0120-292-296 までご連絡いただきますようお願いいたします。



問4 あなたは、情報入手する手段として、どのような媒体（新聞、インターネットサイト、SNS等）をよく利用されますか。（いくつでも選んでください）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 新聞 | 2 テレビ |
| 3 ラジオ | 4 チラシ |
| 5 インターネット | 6 Facebook |
| 7 Twitter | 8 Instagram |
| 9 LINE | 10 YouTube |
| 11 その他（ | ） |

2. 健康管理について

問5 あなたは、運動や食生活など、健康に関する取り組みをしていますか。

（いくつでも選んでください）

- 1 運動に取り組んでいる
- 2 食生活に気を付けている（朝食をとる、野菜を食べる など）
- 3 その他（
- ）
（食後の歯磨き、毎日の血圧や体重の測定、たばこを控える、休肝日をもうける、健康診断を受ける、睡眠をたっぷり取る など）
- 4 何もしていない

問6 健康増進のためにどのようなことを知りたいですか。（3つまで選んでください）

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 栄養・食生活 | 2 運動 |
| 3 休養・こころの健康 | 4 アルコール |
| 5 たばこ | 6 歯・口腔の健康 |
| 7 生活習慣病・骨粗しょう症 | |
| 8 その他（ | ） |



(問9で「2 話し合うつもりはない」「3 わからない」と回答された方へ)

問10 その理由は何ですか？(いくつでも選んでください)

- 1 イメージがわからないから
- 2 面倒だから
- 3 話し合う人がいないから
- 4 その他 ()

5. 地震・風水害等の災害について

問11 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に、ご自分(家族)の災害時避難所(※)がどこにあるか知っていますか。(1つ選んでください)

- 1 知っている
- 2 知らない

※災害時避難所とは

浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった方々が一定期間滞在し、生活環境を確保するための施設です。お近くの小学校、中学校の体育館などが災害時避難所に指定されています。

こちらから
確認出来ます！



お近くの避難所・避難場所がわからない場合は、鶴見区役所 1 階 8 番窓口市民協働課にお問合せください。【電話：06-6915-9846】

問12 コロナ禍では、安全が確保できる場合は在宅避難が推奨されることについて知っていますか。(1つ選んでください)

- 1 知っている
- 2 知らない

問13 あなたは、いざという時に備えて、食料や飲み水の備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていますか。(いくつでも選んでください)

- 1 食料や飲み水の備蓄をしている
- 2 家具の転倒防止をしている
- 3 家の内外に危険箇所が無いかチェックしている
- 4 家族で避難場所、避難経路を確認している
- 5 家族や知人との連絡手段・集合場所などを決めている
- 6 その他 ()
- 7 何もしていない



問 14 あなたが、災害発生時心配なことは何ですか。(いくつでも選んでください)

- 1 家族の安否
- 2 電気・水道などの確保
- 3 食料の確保
- 4 情報の入手・通信手段の確保
- 5 けが、病気の治療
- 6 その他 ()



問 15 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。知っている防災事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

- 1 公園や学校などにある防災資機材庫への資機材配備
(可搬式ポンプや救助資機材など)
- 2 各地域や学校での防災学習会の支援や出前講座
- 3 鶴見区防災マップ
- 4 鶴見区安全・安心フェスタ
- 5 地域防災リーダー(※)の育成
- 6 つるみんピック(地域防災リーダーによる防災競技会)
- 7 知らない



地域防災リーダー研修

※地域防災リーダーとは

災害時の初期初動において、消火・救出救護活動を行う地域のリーダーとして、平時より訓練や啓発活動に取り組む方々です。

問 16 鶴見区では、地震や風水害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区防災計画」(鶴見区ホームページに掲載)について作成しています。

あなたは、「鶴見区防災計画」やその取組みを知っていますか。

(1つ選んでください)

- 1 内容、取組みを知っている
- 2 見たことはあるが、内容、取組みは知らない
- 3 知らない



問 17 あなたは、鶴見区で実施している取組み（区民の防災意識の向上や地域防災力の強化に向けた支援など）が、今後の災害に対する備えにつながっていると感じますか。（1つ選んでください）

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない

6. 安全で住みやすいまちづくりについて

問 18 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。

知っている防犯事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

- 1 青色防犯パトロール車や自転車による巡回
 - 2 小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の日一斉行動
 - 3 自転車ひたくり防止カバーキャンペーン
 - 4 防犯カメラ・街路防犯灯の設置
 - 5 毎月26日の自転車盗難防止啓発の2重ロックキャンペーン
 - 6 知らない（⇒問 20 へ）
- }（⇒問 19 へ）

（問 18 で 1～5 を選択された方へ）

問 19 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。（1つ選んでください）

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない

問 20 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業（交通安全教室などの交通マナーを高める取組み）を行っています。

知っている交通安全対策事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

- 1 警察及び学校と協働した交通安全教室
 - 2 放置自転車追放のための2駅（地下鉄「今福鶴見」・JR「放出」）周辺でのキャンペーン
 - 3 知らない（⇒問 22 へ）
- }（⇒問 21 へ）

(問 20 で 1～2 を選択された方へ)

問 21 あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない

問 22 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない

7. 地域活動協議会（地活協）について

問 23 お住まいの地域には、地域におけるさまざまな課題を解決するため、「地域活動協議会（地活協）」が活動しています。

あなたは、これまで地活協の行事（活動）^{*}に参加したことがありますか。

(1つ選んでください)

- 1 参加したことがある (⇒問 25 へ)
- 2 参加したことがない (⇒問 24 へ)

※主な行事（活動）

防災訓練、青色防犯パトロール、子ども見守り隊活動、防犯一斉行動、歳末夜警、運動会、もちつき大会、ふれあい喫茶、子育てサロン、高齢者食事サービス、盆踊り・夏祭り、百歳体操、ペットボトル回収等

(問 23 で「2 参加したことがない」と回答された方へ)

問 24 その理由は何ですか？(いくつでも選んでください)

- 1 時間がないから
- 2 参加したい魅力的な行事（活動）がないから
- 3 やっていることを知らなかったから
- 4 その他 []

8. 鶴見区全般について

問 25 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。

.....

.....

9. あなたご自身について

問 26 あなたの性別をお答えください。(1つ選んでください)

- 男 女 その他・回答したくない

問 27 あなたの年齢をお答えください。(1つ選んでください)

- 30歳未満 30～39歳 40～49歳
 50～59歳 60～69歳 70歳以上

問 28 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つ選んでください)

- 緑地域 (みどり小学校区、新森小路小学校区)
 鶴見北地域 (鶴見小学校区) 鶴見地域 (鶴見南小学校区)
 櫻本地域 (櫻本小学校区) 今津地域 (今津小学校区)
 茨田南地域 (茨田南小学校区) 茨田地域 (茨田小学校区)
 茨田東地域 (茨田東小学校区) 茨田北地域 (茨田北小学校区)
 焼野地域 (焼野小学校区) 茨田西地域 (茨田西小学校区)
 横堤地域 (横堤小学校区) 分からない

問 29 あなたは鶴見区にお住まいになって何年ですか。(1つ選んでください)

- 1年未満 1年以上5年未満
 5年以上10年未満 10年以上

ご協力ありがとうございました



お手数ですが、令和4年12月15日(木)までに、

この用紙を同封の返送用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。